

令和2年9月15日
株式会社日本政策金融公庫
前橋支店
農林中央金庫
前橋支店

元甲子園球児、故郷で新規就農

～日本公庫・JA利根沼田・農林中央金庫が連携し資金サポート～

株式会社日本政策金融公庫前橋支店（以下：日本公庫）、JA利根沼田、農林中央金庫前橋支店（以下：農林中金）は、群馬県沼田市で新規就農する川端優希（カワバタユウキ）さんに、就農時に必要な資金を融資するなど、連携した支援を実施しましたので、お知らせします。



（甲子園出場の際の川端さん）



（圃場での作業風景）

《ポイント》

〇「地元のリンゴ樹園を承継」・・・沼田市佐山町で新規就農

群馬県沼田市出身の川端さんは、地元の前橋育英高校出身。高校時代には硬式野球部に所属し、三季連続で甲子園出場を果たしました。2017年春のセンバツ大会では、現広島東洋カープの小園海斗選手を擁する報徳学園高校と二回戦で戦い、夏の大会では優勝校である花咲徳栄高校と三回戦で戦いました。川端さん自身も三年生の時には両大会に出場し、その俊足をいかした走塁と広範囲な守備を武器に甲子園の舞台上で活躍しました。また、現在埼玉西武ライオンズのエースナンバーをつけて活躍している高橋光成選手も同じ前橋育英高校出身で高校時代にも交流があったということです。テレビで高橋選手の活躍を目にするたびに刺激を受け、「自分は農業の道で沼田を代表するリンゴ農家になり、地域の農業を盛り上げたい。」と意気込んでいます。

川端さんは高校卒業後、昭和村にある親戚の露地野菜農家のもとで農作業の手伝いを始めました。その中で、「天候等に左右され難しい点はあるものの、手をかければかけるほど良い作物ができる」という農業の面白さに魅かれて、自身の圃場で農業を行いたいという思いが出てきました。そこで地域の行政やJAに新規就農について相談したところ、沼田の名産品の1つで

あるリンゴ栽培を勧められ、地元の有名なリンゴ農園のもとで新規就農に向けた研修を始めることとなりました。研修に取り組みつつ、自身の圃場を探していた川端さんですが、研修先から後継者を探していた佐山町のリンゴ農家を紹介され、その樹園を承継することにしました。

現在、川端さんは研修先で栽培方法や技術を習得しつつ、今年最初の出荷に向けて、日々準備に取り組んでいます。また、承継した成木の樹園地のほかにも佐山町やみなかみ町の別の樹園を借りてリンゴの新植を行い、規模の拡大にも取り組んでいます。

また、川端さんは地域農業の将来の担い手である「認定新規就農者」としても認定されています。周囲の農家からの信頼も厚く、栽培のアドバイスを受けたり、資材等を譲り受けたりと様々なサポートを受けています。今後、沼田市のリンゴ栽培を盛り上げていく農家の一人としてその活躍が期待されます。研修先のリンゴ農家の方も、「川端さんのような熱意ある新規就農者がどんどん増えていって欲しい」と話しています。

川端さんが作ったリンゴはJA等の直売所で今年から販売されます。将来的には、栽培品目の拡充や直売所の建設、さらには、バーベキューやキャンプができるような他にはない複合的な観光農園を創りあげ、地域活性化のために寄与していきたいと話されています。

川端さんは前橋育英高校野球部で培った「主体性・効率性・忍耐力」を生かし、地域の農業を盛り上げていきます。

○日本公庫、JA利根沼田、農林中金、行政が連携し就農時に必要な資金をサポート

日本公庫、JA利根沼田、農林中金が連携し、リンゴ栽培を行う農機等の購入に必要な資金（資金名「青年等就農資金」）を融資しました。また、新たなリンゴ苗の購入にかかる費用については、行政からの補助金を利用しました。今後もJA利根沼田は、行政と連携しながら融資後もリンゴ栽培の技術指導のフォローを行い、収量増加や品質向上を支援していきます。

日本公庫とJAグループは、今後も融資や経営サポートなどにより、新規就農者や認定農業者といった担い手の育成、農業の成長産業化に向けた取組みを積極的に支援することを通じて、地域の活性化に寄与していきます。

○概要

氏名	川端優希（20歳）	住所	群馬県沼田市
営農類型	果樹（リンゴ）		
資金使途	乗用草刈り機、消毒用機械修繕費用等		

（本件に関するお問い合わせ先）

（株）日本政策金融公庫 前橋支店 農林水産事業 TEL 027-243-6061（担当：今村）
〒371-0023 群馬県前橋市本町1-6-19

農林中央金庫前橋支店 TEL 027-220-2356（担当：代田）
〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310